

式辞

愛宕の山に春の息吹漂う今日の佳き日に、京都府議会議員 池田 正義 様をはじめ、多数の御来賓と御家族の皆様の御臨席を賜り、令和7年度京都府立西舞鶴高等学校卒業証書授与式を盛大に挙げてまいりますこと、高壇からではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今、卒業証書を授与しました全日制課程192名、通信制課程21名のみなさん、卒業おめでとう。西高での高校生活を経て立派に成長されたみなさんを世に送り出すことは、本校にとって最大の喜びであり、教職員一同、心から祝福申し上げます。

全日制では、日々の授業、学校行事、部活動やボランティア活動などを通じて、主体的に学び考える力、多様な人とつながる力、新たな価値を生み出す力が育まれたことと思います。普通科と理数探究科、学びの内容においては、異なる部分もありましたが、3年間の西高生活で、第78回卒業生のみなさんの絆は強く結ばれたと思います。みなさんにとって、西舞鶴高校は、学びの拠点であると同時に「努力と友情」の大切さを学ぶ場でもあったと思います。

通信制での学びは、登校は週一回のスクーリングだけでしたが、膨大な量のレポートを作成し、年間三回のテストをクリアするといった苦労がありました。自分のペースで学習できる面では学びやすかったかも知れませんが、仕事や家事、子育てと両立することは大変だったと思います。中学校を卒業後に入学した人、他の高校から転入した人、新たに学び直そうと入学した人など、在籍までの経緯もさまざまですが、そうした違いがありながらも、単位修得に向けた思いの強さや、卒業を目指す決意の固さという点では、みなさんは同じ志を胸に歩んできました。互いを尊重し、ときには励まし合い、必要な時には教え合いながら前に進んでくれたその姿は、本当に力強く、頼もしいものでした。その歩みに心から敬意を表します。

高校生活を終え、みなさんは今、新たな一歩を踏み出そうとしています。卒業後の進路はさまざまですが、これからみなさんが進む世界には、これまで以上に大きな「自由」が待っています。学生として、社会人として、自分の意思で道を選び、自分の判断で未来を切り拓いていくという意味でも、管理から外れるという意味でも、自由を手に入れることとなります。よく「自由には責任が伴う」と言われます。これは、精神科医で心理学者のフロイトの言葉のようです。これまではみなさんのことを先生方や御家族の方々がいい意味で管理し、支えてくれていました。みなさんを危険から守ってくれていたとも言えます。これからは、自分自身で時間を管理し、自分自身で言葉や行動を選択し、身を守ることとなります。4月1日には、すべての卒業生が法的な成人となり、その意味でも大きな責任を負うことがあると思います。「自由には責任が伴う」と言いましたが、その自由が大きくなればなるほど、それに伴う責任も大きくなります。みなさんが、成長していく過程で、心地の良い誘惑があるかも知れませんが、時には進むべき道を見失いそうになるかもしれません。それでも、自分で決断し、自分で軌道修正してってください。みなさんが、成人として責任を果たし、成長していけるよう、みなさんの未来が、希望と笑顔に満ちたものになることを心から願っています。

高校卒業というのは大きな節目であり、別れの時期でもあります。しかし、4月には新しい出会いが待っています。同年代、異年代を問わず、多くの人との出会いが繰り返されることと思います。誰といつ出会うのか、そのタイミングによって人の進む道は変わるかも知れません。我々は他者からの影響を受けながら、失敗や成功を重ねて成長していくからです。出会いは人生を変えるかも知れません。だからこそ、どのような人に対しても、まずは誠実に向き合うことを大切にしてください。茶道の世界では、茶会に臨む際、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるという心構えを持ち、亭主と客が互いに誠意を尽くします。これを表すのが「一期一会」という言葉です。出会いの大切さを示す言葉は他にも数多くありますが、このことは先人たちが出会いの価値を深く認識してきた証しと言えるでしょう。これからの長い人生の中で、多くの出会いを楽しんでください。また、成長していく過程での「まだ知らない自分」、「未見の我」との出会いも楽しみにしててください。

全日制課程・通信制課程、それぞれの学びを修了し、今、みなさんは門出の時を迎えています。楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったこと—西高での日々の記憶と仲間たちの存在が、みなさんの未来を支える力となることでしょう。本日をもって西舞鶴高校はみなさんの母校となります。みなさんが、「自分の母校は西舞鶴高校です」と胸を張って言ってもらえるよう、西高の後輩たちの活躍がみなさんに届くよう、西舞鶴高校の教職員一同頑張っています。卒業後も西高を訪れてくれることを願っております。

後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。晴れの姿を御覧になり、感慨もひとしおのことと拝察いたします。お子様の事で心ときめくこともあれば、心配で眠れぬ夜もおありだったことと思います。人生における子育てということを考えますと、実は大人の方が子どもによって育てられている、子どもの成長から学ぶことが多くあります。皆さまの子育ての姿から、我々教職員も多くのことを学ばせていただきました。これまで本校の教育に賜りました御理解と御協力に、心より御礼を申し上げます。

結びに、新しい旅立ちをされる卒業生のみなさんに、あらためて心からお祝いを申し上げるとともに、本日、御臨席いただきました全ての方々の御健勝と御多幸を祈念し、式辞といたします。

令和8年2月27日
京都府立西舞鶴高等学校
校長 田邊 仁司